

QUESTION 10-1

子ども、青年、大人のうち、あなたは自分をどれに属すると考えるだろうか。またそのように考える理由は何だろうか。

QUESTION 10-2

次の文章はあなたにどのくらい当てはまるだろうか。もっとも当てはまる場合を 5 とし、5 段階で回答してみよう。

- A 自分が将来するかもしれない、いろいろなことについて考える ()
- A 自分に合ういろいろな生き方を考えている ()
- B 自分の人生をどうするのかについては、自分で選んで決めた ()
- B 自分が将来何をやっていくのか、思い浮かべることができる ()
- C 自分がすでに決めた将来の計画について考える ()
- C ほかの人たちと、自分の将来の計画についての話をする ()
- D 私の将来の計画は、自分にとって正しいものに違いない ()
- D 将来の計画があるから、私は自信をもっている ()
- E 人生で本当にやりとげたいことは何か、はっきりしない ()
- E 自分が進みたい人生を、ずっと探し続けている ()

これは、アイデンティティがどのような状態にあるのかをとらえる尺度の項目の一部である。自分のアイデンティティを探し求める態度 (A)、そこから答えが見えてきた状態 (B)、出した答えで本当にいいかどうかさらに見極めようとする態度 (C)、その答えでよいと確信をもつことができている状態 (D)、アイデンティティを探し求める過程で悩みにはまりこんでいる状態 (E) の 5 つの側面をとらえようとするものである。

A、C が高く、B、C が中程度に高く E が低い場合には「達成」、A、C のみが高い場合は「早期完了」、A、B、C、D のいずれも高い場合には「探索モラトリアム」、E のみが高い場合や A、B、C、D のいずれもが低い場合には「拡散」の状態と解釈される (Luyckx et al., 2008)。

QUESTION 10-3

あなたが仕事を選ぶ際に重視するのはどのようなことだろうか。次の中からいくつでもあげてみよう。まわりの友だちや親や祖父母など世代の違う人にも尋ねてみよう。そのときは、最初に就職したときのことを思い出してもらって答えてもらうようにしよう。



- ①仕事内容, ②収入, ③職場の雰囲気, ④労働時間, ⑤自分を生かすこと, ⑥通勤の便, ⑦将来性, ⑧能力を高める機会があること, ⑨専門的な知識や技能を生かせること, ⑩事業や雇用の安定性, ⑪仕事の社会的意義, ⑫その他 ()

QUESTION 10-4

次の考えについて、あなた自身は賛成か、反対か、考えてみよう。また、そう答える理由を考えてみよう。

- ① 男女が一緒に暮らすなら結婚すべきである
② いったん結婚したら性格の不一致くらいで別れるべきではない
③ 生涯独身で生きるというのは望ましい生き方ではない
④ 結婚したら、家庭のために自分の個性や生き方を半分犠牲にするのは当然だ

| | |
|--|--|
| | |
|--|--|